

みえないいちから

校長 小林 信



3月17日に30名の6年生が卒業し、3月24日の修了式をもって、今年度が終わろうとしています。新型コロナウイルス感染症の予防を行いながら、できるだけ子どもの学び場を補償しようと取り組んだ1年になりました。

保護者の皆様、地域の皆様の温かい見守りとご支援のおかげで本年度を終えることができることを感謝しております。

6年生を送る会 3.10

6年生に感謝の気持ちを伝えようと5年生が企画した「6年生を送る会」が行われました。会場準備、会の進行等全体計画を5年生の子ども達が担当してくれました。各学年とも工夫した形でお礼の気持ちを伝えることができましたようです。3学期は、感謝の気持ちを伝える「ありがとう」をたくさん使おうと子ども達にお願いしていました。この日は、たくさん「ありがとう」の言葉が聞こえる素敵な1日になりました。6年生がとてもうれしそうな表情をしていたのが印象に残りました。各学年とも素敵な発表でした。6年生に「ありがとう」の気持ちを伝えようと一生懸命な姿が素晴らしかったです。



2年生:ダンスの間の背中の文字で



3年生:音楽演奏で



4年生:応援合戦の各色のダンスで



1年生:運動会の時のダンスで



5年生:長縄とび、玉入れ対決で

卒業証書授与式 3. 17

3月17日（金）卒業証書授与式を行い、30名の6年生が卒業していきました。証書を受け取る凛々しい姿に6年間の成長を感じ、うれしく思いました。今年1年は、最高学年として下級生に対して優しいお兄さん、お姉さんでした。その分、大変慕われていたように思います。陸上大会、運動会、音楽祭と活躍したことは、下級生にとってあこがれの存在になりました。寂しくなりますが、中学校に行っても活躍してほしいと願っています。在校生を代表して参加した5年生の送る言葉の中に「次は、私たち5年生が・・・」という内容がありました。6年生から学んだことを5年生がきちんと引き継ぎ、よき三階小学校の伝統を引き継いでいってくれるものと思います。



式辞の一部を紹介させていただきます。

卒業にあたり、皆さんに三つの言葉についてお話をします。

一つ目は「ありがとう」。「『ありがとう』の言葉の数だけ人は優しくなる」と言われます。「ありがとう」と感謝の心を表すことで、人は相手のやさしき謙虚に受け止めることができるようになります。そして、そのことが自分自身の心を清らかにさせ、人にやさしく接してもらうことの心地よさを深く感じるとともに、人に対してより一層謙虚になり、感謝の心をもちながらやさしくふるまうことができるようになるのです。

二つ目は「ごめんなさい」。「『ごめんなさい』の言葉の数だけ人は賢くなる」と言われます。人は、時として心ならずも過ちや失敗をしてしまうものです。けれども、その時に、心から「ごめんなさい」と謝ることで、その過ちや失敗が薄められ、人とのかかわりも元のようになめらかなになることが数多くあります。そして、そのたびごとに、過ちや失敗を繰り返さないための様々な方法を学び取り、人との良いかかわり方について知恵や技を身に付けることができるのです。

三つ目は、「さようなら」。「『さようなら』の言葉の数だけ、人は人の愛を知る」と言われます。人は、別れの時になってはじめて、多くの人に大切にされてきたことに気づくものです。教室で支え励ましてくれた友達の優しさや思いやり、また、これまで様々なお世話をしてくださった担任の先生方の優しい心遣いや暖かな愛情を、別れる今になって改めて強く感じていることでしょう。このような別れの時を繰り返す中で、人は人の愛を知り、その体験を通して、多くの人と愛情をもって接することができるようになるのです。

皆さんどうか三つの言葉の意味を忘れないでください

お礼

石見地区民生児童委員協議会様より「新型コロナウイルス対策まごころ支援」として寄付をいただきました。子ども達のために有効に使わせていただきます。ありがとうございました。